

2026 年度学校関係者評価委員会 開催報告書

旭美容専門学校は、学校関係者により自己点検評価結果を評価することでその客観性を高め、委員から助言を得ることで学校運営の継続的な改善を図ることを目的とし、学校関係者評価を実施したので、下記のとおり報告する。

旭美容専門学校 学校関係者評価委員会

開催日時： 2026 年 8 月 3 日（月） 14：00～15：20

場 所： 旭美容専門学校 南館 エステ室 TEL059-228-2264

出席委員： 株式会社杉新衣裳店 杉田真一

(敬称略) 有限会社山端鋏製作所 山端公喜

ヘアードアンドメイク ウェーブ 長島正美

ヘア&メイク KOTOBUKI 中林巳佳

株式会社 SHIGERU CUT CLUB 林 賢一

学校より

旭美容専門学校 理事長 長谷川雅敏

旭美容専門学校 校長 溝口智紀

旭美容専門学校 教務部長・美容科学科長 丹羽孝喜

議事次第

1. 開会 配布資料の確認（司会）
2. 理事長・学校長挨拶
3. 出席者の確認
4. 学校関係者委員会の進め方

司会者より進め方について説明の後、杉田委員長が議長(委員長)に指名され、挨拶の後、議事に入る。

5.議事

1) 自己点検・自己評価結果の報告

2026年3月25日に実施した自己点検・自己評価結果について、担当教職員より説明を行い、委員による評価を実施した。

(1)教育理念・目標

建学の精神及び教育理念・教育ビジョンについて、日頃から繰り返し確認を行い、教職員・学生への浸透を図っていることを報告した。

(2) 学校運営

学生募集から学籍管理までを一元管理できる教育支援システム「BLEND」を導入し、学校運営の効率化と情報共有の充実を図っていることを説明した。

(3) 教育活動

「トータルエステ科」を「ネイル・エステ科」へ改称し、より専門性の高い教育内容へ刷新した。また、本年度より City & Guilds カリキュラムを導入し、国際基準に対応した実践的教育を開始した。

美容科では韓国美容研修を実施し、国際的な視野を広げる教育を推進している。

今後も第一線で活躍するアーティストによる特別授業や e ラーニングを積極的に取り入れていく。

(4) 学修成果

退学率については会議資料 5 頁の退学者(休学者表)により説明。退学者は夏休みまでに辞める傾向が非常に高いが本年時は現在 1%程度と少なく課題であった退学率の低減が図られている。

(5) 学習支援

進路・就職に関する支援体制については求人票を PDF にしたことで、学生たちが閲覧し易

くなった。

学生相談に関する体制については美容教育にも精通したカウンセラーに依頼し相談窓口を準備した。

3.経済的支援体制については、専門訓練教育給付金制度や就学支援金が利用でき、独自の就学給付・貸与制度もあることを保護者、入学希望者、サロン協力会会員に周知している。

(6)教育環境

設備・施設については各 HR に各人ごとのコンセントを配備するなど実習授業はスムーズに行われている。ネット回線、Wi-Fi 環境設備も整備し全学生が端末を使用し授業に活用している。設備・施設の老朽化が気掛かりである。

Blend の導入により保護者との連携も適切に行い連携している。

(7)学生の受け入れ募集

学生の募集活動については、AO 入試を 3 回に増やし一般入試を 1 回に減らしている。

現在 AO エントリーを受け付けているが好調である。

(8)財務

財務情報の公開に関しては本校事務所にて閲覧可能となっている。

(9) 法令遵守

法令、専修学校設置基準を遵守し適正に運営されている。

自己評価結果は公表している。

(10) 社会貢献・地域貢献

社会貢献、地域貢献については地域行事に積極的に参加し貢献している。

学生のボランティア活動に関しては介護施設での美容ボランティアなど実施している。

(11) 国際交流

ここ数年、留学生は現在いない。今年は韓国から入学希望の問い合わせがあった。

(12) その他(学生アンケート等)

別添資料により説明した。

2) 関係者評価（意見・提言等）

議長は学校からの報告を受け各委員より意見・質問を求めた。

育成人材像について(1-1)

・ 平均的に及第点を取れる真面目な人材を平等に育てていくのか? 個性的で特徴を発揮できる人材を輩出したいのか? 後者であれば学校の強みを活かし、魅力をどんどん発揮していっ

てもらいたい。

学生支援(5) 教育環境(6)

・以前にも感じたことだが、真面目にやりたいのに騒がしい人たちがいて真面目にやっている生徒が損をするといった声を聞くと親の立場からするとなんとかならないかと思う。対策は考えているのか？

学校より

色々試行錯誤を繰り返している。

グループで担任業務を分担した時期もあったが、現在は従来の担任制を基本とし管理・声がけをしている。

モチベーションの低下や小さな変化も見逃さず、チームとして対応している。

ネガティブ発言を減らすよう毎朝、心を開く取り組みをして何事にも前向きに取り組みを始めている。

コミュニケーション能力向上をめざしアイスブレイクの達人の育成を目指している。

成長、気づきにつながることを期待している。

(6)-2 情報化システム化による業務の効率化(Blend-Systems)

・ブレンドで通信生も出席状況は確認することはできるか？

学校より

通信生はブレンドシステムは使えないが Google classroom により確認できる。

(6)-2

- ・確認ができればサロンの先生方から大変喜ばれると思う。

(12)その他（学生アンケート等）

- ・毎年、先生方にはたいへんなご苦勞をおかけしている。担任制のありかたについてもアンケートを取ってみてはどうか？
- ・最近仲が良いのが当たり前の時代、バランスを見ながら友人関係を作っている。
- ・アンケート結果については大体 2-6-2 になると思う、最後の 2 に入る人達が課題になる。コミュニケーションをしっかりとって価値観を共有し理解を深めていくことが大切。
- ・自己点検・自己評価やアンケートについては望む効果を上げるためには工夫が必要。
- ・随分経ったので評価体制を見直しては。
- ・学校に対するアンケートだけではなく、例えばヒューマンビューティーについて理解できたか？等自問自答で自己成長度合いを確認できるアンケート内容にすればいいのではないか？
- ・アンケートも年一度といわず必要な時期にあわせて変えていくのはどうか
- ・学校に対して言葉による評価は難しいと感じた。評価をもっと具体的に褒めていただければ答えやすい。アンケートも学校や教師への評価や希望や要望だけでなく、私も自問自答の設問を増やした方がいいと感じた。三重県で美容を学ぶ子どもたちをしっかりと見守っていただきありがたく思う。

6.報告事項

- ・本日の評価結果は報告書にして公開する
- ・次回開催予定日については令和 9 年 8 月 2 日に開催予定とする

以上

学校関係者評価シート

(1)教育理念・目標

4(適切)～1(不適切)

no	評価視点	学校自己評価	関係者評価
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4	3.6
2	学校における職業教育の特色は何か	4	3.6
3	学校の理念・目的・育成人材像・特色などが生徒・学生・関係業界保護者等に周知がなされているか	4	3.4
4	各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3.6

(2)学校運営

no	評価視点	学校自己評価	関係者評価
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	4
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	4	3.8
4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	4
5	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	4
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3.8

(3)教育活動

no	評価視点	学校自己評価	関係者評価
1	教育理念等に沿った教育課題の編成・実務方針等が策定されているか	4	4
2	修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3.8
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3.8
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	4
5	教育実績・効果などについて達成目標を決めて評価を行っているか	4	3.8

6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	3.8
7	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3.8
8	資格取得に対する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3.8
9	人材育成目標達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4
10	職員の能力開発のための研修等行われているか	4	3.8

(4)学修成果

no	評価視点	学校自己評価	関係者評価
1	就職率の向上が図られているか	4	3.8
2	資格取得率の向上が図られているか	4	3.8
3	退学率の低減が図られているか	4	3.8
4	卒業生・在学生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3.8
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3	3.8

(5)学生支援

no	評価視点	学校自己評価	関係者評価
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3.8
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	3.8
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3.8
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3.8
5	学生の生活環境への支援は行われているか	4	3.8
6	保護者と適切に連携しているか	4	3.8
7	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3.8

(6)教育環境

no	評価視点	学校自己評価	関係者評価
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3.8
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3.8
3	防災に対する体制は整備されているか	4	3.8

(7)学生の受け入れ募集

no	評価視点	学校自己評価	関係者評価
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4	3.8
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3.8
3	学納金は妥当なものとなっているか	4	3.8

(8)財務

no	評価視点	学校自己評価	関係者評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3.8
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3.8
3	会計監査が適正に行われているか	4	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	3	3.8

(9)法令の遵守

no	評価視点	学校自己評価	関係者評価
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3.8
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3.8
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3.8
4	自己評価結果を公開しているか	4	3.8

(10)社会貢献・地域貢献

no	評価視点	学校自己評価	関係者評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3.8
2	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか、個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3.8
3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	3.8

(11)国際交流

no	評価視点	学校自己評価	関係者評価
1	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	3	3.8
2	留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3	3.8